



平成 30 年 2 月 9 日

各 位

会 社 名 メディカル・データ・ビジョン株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 岩 崎 博 之
 (コード番号: 3902)
問 合 せ 先 取締役管理部門長 井 上 太 郎
 (TEL.03-5283-6911)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成29年2月13日に公表いたしました通期の連結業績予想を以下の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

売上高については3,225百万円（前年同期比22.5%増）、経常利益については、当初の計画を上回る565百万円（前年同期比36.0%増）となる見込みです。

1. 当期の連結業績予想数値の修正（平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日）

	連 結 売 上 高	連 結 営 業 利 益	連 結 経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 た り 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,600	542	540	311	16.34
今回修正予想 (B)	3,225	569	565	354	17.72
増減額 (B - A)	374	26	25	42	-
増減率 (%)	10.4	4.9	4.7	13.7	-
(参考)前期連結実績	2,632	430	415	178	9.34

(注) 当社は、平成 28 年 7 月 1 日付で普通株式 1 株につき 2 株の株式分割を行い、平成 29 年 5 月 1 日付で普通株式 1 株につき 2 株の株式分割を行なっておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行なわれたと仮定し、1 株当たり当期純利益金額を算定しております。

2. 修正の理由

売上高の修正は、主に「CADA-BOX」(初期導入費 2,000 万円、月額保守費用 50 万円)の営業スケジュール遅延に起因しますが、これは一過性のものであり、現在の状況は下記に記載の通りです。

一方で利益については、収益性の高いデータ利活用サービスのうち、特に製薬会社に向けたアドホック調査サービスが順調に推移したため、前回発表予想を上回る見込みです。

「CADA-BOX」については、稼働準備や患者への認知活動などの手厚いサポートを行なったため、病院における本格稼働と事例取得のスケジュールに遅れが発生いたしました。その結果、期中 15 病院の稼働計画に対し、稼働済み 3 病院、稼働準備 2 病院の合計 5 病院の導入となりました。

現在は、「CADA-BOX」導入メリットに関するインタビュー動画の完成、全日本病院協会副会長も務める恵寿総合病院の神野 正博 理事長の「CADA-BOX」スペシャルアドバイザー就任など、決裁者を対象とした営業活動基盤が整い、「CADA-BOX」に対して高い興味をもつ数十病院への営業活動を再開しております。

データ利活用サービスは、プロモーションツールを活用した新規顧客の開拓や営業活動の効率化により、製薬会社や保険会社を対象としたアドホック調査サービスの受注件数が大きく伸びました。ま

上記に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

た、当社が保有するデータベースを活用した新たな事業である治験サービスの本格展開を見据え、2017年6月には治験会社である株式会社コスメックスを子会社化するなど、次の拡大に向けた各種準備も順調に進捗しております。

以 上